

2010 年 5 月吉日

報道関係者各位

ご案内

不妊当事者の経済的な負担の現状を、国政の場に届けるために活動中！  
**福島みずほ・少子化対策担当大臣に面会、陳情書提出！**  
**3 回目の国会請願実施！**

NPO 法人 Fine (Fertility Information Network = ファイン)

<http://j-fine.jp/>

### 医療団体と協働で、大臣に直接陳情が実現

不妊症患者をはじめ不妊で悩む人をサポートする、体験者によるセルフサポートグループ、「NPO 法人 Fine (ファイン)」は 4 月 21 日、(社)JISART (日本生殖補助医療標準化機関)と共に、福島みずほ内閣府特命担当大臣 (消費者及び食品安全・少子化対策・男女共同参画)に「不妊患者の経済的負担の軽減を目指す陳情書」を提出しました。陳情書に掲げた項目は以下の 2 点です。

- ・ 特定不妊治療費助成事業より給付される補助金の更なる増額と制度 (条件等) の見直し
- ・ 不妊治療の保険適用範囲の拡大

当日は福島大臣と面会し、JISART 理事長 田中 温氏 (セントマザー産婦人科医院 院長) 同副理事長 宇津宮隆史氏 (セント・ルカ産婦人科 院長) Fine 理事長 松本亜樹子、同副理事長 高柳順子、その他 Fine スタッフ等を含め計 11 名で、不妊当事者の経済的負担の現状を直接伝えました。

昨年末から今春にかけて Fine が独自に行なった「不妊治療の経済的な負担に関するアンケート ( 1 )」の結果を参考資料として陳情書に添付しました。(このアンケートには、当事者が実施したのものとしては過去最大数と思われる 1,111 名が回答しました)

( 1 )アンケートについての参考ウェブサイト <http://j-fine.jp/top/anke/keizai-anke.html>

### 5 月中旬に国会請願 ( 3 回目 ) を予定。約 16,000 名の署名が集まる！

日本では夫婦 10 組に 1 組以上が不妊といわれています。2007 年には日本における体外受精・顕微授精の治療周期数は 16 万周期を超えました ( 2 )。これらは自費診療のため 1 回あたり数 10 万円の費用がかかります。不妊には精神的・肉体的・時間的・経済的な負担がありますが、景気の低迷が続く中で、高額な治療費は患者の大きな経済的負担となっています。それにより治療を断念するカップルが多数いるのが現状です。公的支援として 2004 年にスタートした「特定不妊治療費助成事業 ( 3 )」は、多くの患者の助けになる一方で、さらなる見直しが望まれています。

Fine ではこうした不妊治療における経済的負担の軽減を目指し、5 月中旬に、今回の陳情と同じ項目について、第 3 回目となる国会請願を実施する予定です。

( 2 )体外受精・顕微授精の治療周期数についての参考資料 (日本産科婦人科学会平成 20 年度倫理委員会登録・調査小委員会報告) [http://www.jsog.or.jp/activity/pdf/Rinri\\_report6109.pdf](http://www.jsog.or.jp/activity/pdf/Rinri_report6109.pdf)

( 3 )厚生労働省が実施する体外受精・顕微授精に対する助成制度。年間所得が夫婦合算で 730 万円以下のカップルを対象に、1 回の治療に対し 15 万円を限度として 1 年度あたり 2 回まで、通算 5 年間助成金が支給される。

### これまでの請願と今回の請願について(ご参考)

Fine は不妊患者の経済的負担の軽減を求めて、2007 年に不妊患者団体としては初の国会請願を実施、全国から約 15,000 名の署名が集まり、請願提出時には、衆議院・参議院あわせて 34 名の議員に紹介議員になっていただきました。第 2 回目は 2009 年 5 月に実施。約 13,000 名の署名が集まり、38 名の国会議員に紹介議員となっていただきました。2010 年 5 月中旬に実施を予定している第 3 回目の請願に向けて、全国から約 16,000 名の署名が集まり、31 名の国会議員に紹介議員となっていただく予定です(2010 年 4 月 30 日現在)。

「今回の請願」についての参考ウェブサイト <http://j-fine.jp/shomei/shomei.html>

## NPO 法人 Fine これからの活動予定 (2010 年 5 月 1 日現在)

- ・5 月 不妊患者の経済的負担軽減を目指すための国会請願実施
- ・7 月 28 日(水) 第 28 回日本受精着床学会総会・学術講演会にて発表 パシフィコ横浜(横浜市)
- ・7 月 31 日(土) カウンセリング公開講座開催 古石場文化センター(江東区)  
カウンセリング公開講座の取材についてのお問い合わせ: E-mail : finekouhou@j-fine.jp  
(会場での参加者への直接取材は、原則としてご遠慮いただいております)  
講座の内容についてのお問い合わせ: E-mail : ピアサポートチーム : peer-support@j-fine.jp
- ・2011 年 1 月~3 月『Fine 祭り 全国おしゃべり会 special (仮称)』開催
- ・その他、各種講演会、学会にて多数発表

## NPO 法人 Fine これまでの活動実績 (抜粋)

### **日本初! 不妊ピア・カウンセラー養成講座の運営**

日本で初めて、不妊に特化したピア・カウンセラーを養成(4 月より第六期開講中)

参考ウェブサイト <http://j-fine.jp/counseling/2010/piacouns.htm>

### **日本初! 不妊当事者団体として、国会請願を実施!**

不妊当事者団体として初めて、2007 年 10~11 月に、不妊治療に関するすべての薬剤と検査に対する保険適用を求めて国会請願を実施! 集まった署名は約 15,000。34 名の国会議員にご協力いただきました。

2009 年には請願項目を改め、第 2 回目の国会請願も実施しました。

2010 年 5 月、不妊患者の経済的負担の軽減をめざし、第 3 回目の国会請願を実施予定

参考ウェブサイト <http://j-fine.jp/shomei/shomei.html>

### **『Fine 祭り』を 2 年連続で開催**

2008 年 11 月 2 日、東京ウィメンズプラザにて『Fine 祭り 2008 ひとりじゃないよ! 不妊』開催。入場者約 500 名。

2009 年 11 月 3 日、日経ホールにて『Fine 祭り 2009 そこが知りたい! 不妊』を開催。入場者数約 550 名

参考ウェブサイト : <http://j-fine.jp/matsuri/2009/matsuri.html>

### **不妊に関するさまざまな調査を実施**

2009 年「不妊治療施設とのコミュニケーションアンケート」を実施

2010 年「不妊治療の経済的負担に関するアンケート」を実施(回答者数/1,111 名)

参考ウェブサイト <http://j-fine.jp/top/anke/keizai-anke.html>

### **各種要望書の提出**

これまでに、厚生労働省に「新薬認可の要望書」「保険適用の効能追加の要望書」「自己注射の要望書」を提出。すべての要望書が承認されました!

2009 年「黄体ホルモン補充製剤プロゲステロン膈座薬の承認要望書」を提出

参考ウェブサイト : <http://j-fine.jp/yobo/pro.html>

### **カウンセリング事業**

専門家によるカウンセリング、ピア・カウンセラーによる電話相談等の実施

### **学会・研究会への参加・発表**

2009 年 ESHRE(欧州生殖医学会)患者部門にてゲストスピーカーとして発表(オランダ)

2009 年 第 27 回日本受精着床学会総会・学術講演会「生殖医療の質向上に向けて患者からの提言」において患者代表としてスタッフ 3 名が発表

### **媒体関係(取材や協力)**

朝日新聞・日本経済新聞・毎日新聞・読売新聞・東京新聞・北海道新聞・京都新聞 他

NHK「クローズアップ現代」・日本テレビ系ニュース番組「今日の出来事」・日本テレビ G+「医療ルネッサンス」・NHK「@ヒューマン」 他 週刊朝日・赤ちゃんが欲しい・AERA・Domani 他

### **その他**

JISART 施設の認定審査に患者代表審査委員として参加(2005 年~現在)

~Fine 会員は約 900 名(2010 年 4 月現在) さらに SNS も開設! 登録者約 750 名(2010 年 4 月現在)~

NPO 法人 Fine(ファイン) <http://j-fine.jp/>

〒135-0016 東京都江東区東陽 1-32-4 TEL 03-5665-1605 FAX 03-5665-1606

\* 常駐ではありませんので、できるだけメールにてお問い合わせいただければ幸いです

~ 当リリースについてのお問い合わせ ~

E-mail : NPO 法人 Fine 広報窓口 : finekouhou@j-fine.jp